

日本取締役協会 委員会活動のご紹介(2026)

コーポレートガバナンスの実践におけるヒントや気付きを得ることを目的に、相互研さんを中心とした勉強会を開催しています。

各委員長の問題意識、関心分野からテーマを設定しシリーズで勉強会を開催しています。主に会員であるトップエグゼクティブからの事例発表、専門家による解説、機関投資家との意見交換など、コーポレートガバナンスをベースとしながらも幅広い分野を取り上げています。(★印はアウトプットを目的に活動、セミナー形式の会合は実施しておりません)

コーポレートガバナンス委員会 (第6期)

委員長 キリンホールディングス 代表取締役会長 CEO 最高経営責任者 磯崎 功典氏

副委員長 西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 パートナー 弁護士 太田 洋氏

(オブザーバー 同 泰田 啓太氏、同 野澤 大和氏)



独立取締役委員会 (第3期)

委員長 NTT データグループ 独立取締役、リコー 独立取締役 石黒 成直氏

副委員長 積水ハウス 社外取締役、イオンフィナンシャルサービス 社外取締役 中島 好美氏

日本企業におけるガバナンス改革が進展し独立取締役の人数が急拡大しています。取締役会の現場において、独立取締役の皆さんが何にご苦労され、どういった課題に直面されているのかというリアリティについては、取締役会という特殊性もあり表に出にくい話題です。今回は、特に比較的経験の浅い独立取締役に焦点を当て、現場の声やニーズを引き出すことにより「現場視点での的確な学びの場～あなたは何を価値観にしてどのように振る舞うべきか」を提供したいと考えています。また同時に、取締役会がその実効性を高め、企業ごとに異なる「固有の解」を引き出す力を備えるために、独立取締役であるあなたが目指すべき姿・理想形についても学べる場にしたいと考えています。



取締役研修委員会 ★

委員長 ボードアドバイザーズ 代表取締役社長 佃 秀昭氏

副委員長 IGPI 弁護士法人 代表弁護士、経営共創基盤 ジェネラル・カウンセラー 宮下 和昌氏

ガバナンスの担い手である、社外・社内取締役向け教育研修プログラムの拡充を目的に活動します。具体的には、既存の「社外取締役トレーニング BASIC」「経営幹部のためのCG研修」をベースに自らの行動や判断に反映させる心構え、実践力を身に着けるための、研修プログラムをバージョンアップ。3段階のステップアッププログラムに生まれ変わりました。前述の情報提供型の基礎編に加え、ディスカッションを中心としたケースメソッドプログラム(応用編)、取締役会議長の議論の場として The Chairs' Program(特別編)を立案、実施しております。2026年度より、取締役会事務局向けの研修も開設予定です。



企業価値向上委員会

委員長 独立行政法人経済産業研究会 フェロー 中神 康議氏

副委員長 三菱 UFJ モルガンスタンレー証券 取締役 副社長執行役員 別所 賢作氏

企業経営と会計委員会（第3期）

委員長 オリンパス株式会社 取締役 竹内 康雄氏

副委員長 公認会計士 日本公認会計士協会 相談役 奥山 章雄氏

副委員長 トーマツ 監査・保証事業本部 第三事業部 パートナー 公認会計士 鈴木 泰司氏



”企業と“投資家との対話委員会

委員長 東京エレクトロンデバイス 取締役 常石 哲男氏

副委員長 森・濱田松本法律事務所外国法共同事業 弁護士 澤口 実氏

日本の金融の新しい動きを理解し戦略を考える委員会(通称 金融委員会)(第4期)

委員長 アセットマネジメント One 株式会社 取締役社長 杉原 規之氏

副委員長 オカムラ 社外取締役 狩野 麻里氏

人的資本経営委員会（第3期）

委員長 SWCC 株式会社 代表取締役会長 取締役会議長 長谷川 隆代氏

副委員長 東京大学 大学院総合文化研究科 教授 清水 剛氏



サステナビリティ委員会（第2期）

委員長 荏原製作所 取締役会長 浅見 正男氏

副委員長 かんぽ生命保険 エグゼクティブ・フェロー 中空 麻奈氏

目下の株高の背景の一つに、日本におけるコーポレートガバナンスの進展がある、とされています。現在の株価を日本企業のリアルな実力として定着させるためにも、経営におけるパーパスを見直し、拡充していくことが肝要である、と考えます。

世界は大きな転換点を迎え、気候変動対策を怠れば経営のリスクとなることもわかっています。そんな中、“トランジション”は重要なテーマとなりうるというのが我々の認識です。そこで、2024年度の当委員会においては、トランジションについて様々な観点から捉えてみたいと思います。トランジション・ファイナンスの現状からカーボンプライシングまで、TNFD 開示の在り方から企業の具体的な取組事例についてまで、切り口を変えて、“トランジション”を軸にした企業価値創造を探っていけたら、と思っています。

過去2年間にわたり、機関投資家のスチュワードシップ活動の責任者などから、対話の動向や新たな展開についてヒアリングをするとともに、経営者との議論を通じて、対話の深化の道筋を探ってきた。

本年度は、ヒアリングは一旦休止又は縮小するかわり、スチュワードシップ・コードの改訂の可能性があることから、機関投資家やスチュワードシップ・コードのあるべき姿について、パネル討議形式も含めて意見交換を行い、前記改訂に対しても一定の働きかけを行いたい。また、適切なスチュワードシップ活動を行う機関投資家をサポートするために、その表彰制度の研究も進めていきたい。



リスク・ガバナンス委員会

委員長 プロテビティ LLC シニアアドバイザー 神林 比洋雄氏

副委員長 明治大学 法学部 教授 柿崎 環氏

現在、地政学リスクや、フェイクニュースなどの DX リスクがもたらす影響が、国内外の経営環境において、その重大性を増しています。さらに、従来その存在は認識していたものの、いつの間にか大きな影響力を持つようになるエマージングリスク発現のスピードの速さも経営者の大きな悩みとなっています。このような戦略の達成に大きな影響力を与える可能性＝リスクへの対処を通して価値創造を実現するために、果敢にリスクテイクを行い、負のリスクの影響力を極小化するための要点を、以下のテーマを中心に協議して参ります。



スタートアップ委員会 ★

委員長 日本取締役協会会長、日本共創プラットフォーム(JPiX) 代表取締役会長 富山和彦氏

副委員長 一橋ビジネススクール PDS 寄付講座特任教授 楠木 建氏

昨年度は、我が国のベンチャー・エコシステムをグローバル水準にアップデートし、日本経済のエンジンとなるべきグローバル・スタートアップを創出するための、スタートアップ経営の在り方及び VC 等ステークホルダーによる支援の在り方を提言として取りまとめ、これを公表した。本年度も、同提言の啓蒙活動を継続しつつ、提言項目の中から「VC 教育の必要性」や「公正価値評価の徹底」といった重点テーマを特定し、これらについて政府及び業界への働きかけを行っていくことを予定している。



未上場企業のガバナンスを考える委員会 ★

委員長 マネジメントソリューションズ 取締役会長兼社長 高橋 信也氏

副委員長 慶応義塾大学商学部 准教授 岩尾 俊兵氏